

令和3年度10月例会報告

- 日時 令和3年10月27日(水)
- テーマ 秋の八街 らっかポッチを巡る
- 集合 JR八街駅改札口前
- 集合時間 9時15分
- 参加者 27名
- 距離 15キロ
- 解散 14時40分(JR八街駅)
- 案内役 リーダー:川村 泰久、サブリーダー:小平 明男、伊香賀 泰之
- コース ①JR八街駅南口⇒②けやきの森公園⇒③ローソン(WC)⇒④寝釈迦⇒⑤クリーンセンター⇒⑥法宣寺(WC)⇒⑥スポーツプラザ(昼食)⇒⑦中央公民館(WC)⇒⑧JR八街駅(解散)

初めての八街ウォーキング

佐倉歩こう会20年以上の歴史の中で、八街での例会はなんと初めて！！これぞまさしく「灯台もと暗し」。八街は佐倉のもっとも身近な隣町です。今回、八街にお住いの川村さん(例会リーダー)のご尽力により、八街での例会が実現しました。深まりゆく晩秋のなか、この季節ならではの風物詩「らっかポッチ」を随所に眺めながらのウォーキング、とても楽しみです。

都市近郊型農業の町 八街

けやきの森公園で朝礼、準備体操を終え、さっそく歩き始めると、すぐに広がる景色は、どこまでも続く人参畑。八街の基幹産業は、野菜を中心とした農業。この季節、人参、大根、里芋、落花生などが収穫期を迎えています。緊急事態宣言で8月、9月と例会中止が続き、久々の例会再開となりましたが、収穫期を迎えた野菜畑を眺めながらのウォーキングは、ことのほか楽しく、マスク越しの会話もはずみます。

秋の風物詩「らっかポッチ」

行く先々で広がるのが、秋の風物詩「らっかポッチ」。八街は、気候と風土が落花生の栽培に適しているということで、その生産量は全国一。掘り起こした落花生を乾燥させたあと、小山のように野積みし、1か月ほど天日干し。落花生の畑に、ぽちぽちと並んでいるところから、「らっかポッチ」というそうです。「ゆで落花生がおいしい。」「やはり、おおまきりは格別だね。」、落花生談義に花を咲かせながら、皆さん、楽しく歩いています。

「寝釈迦」とは？

歩き始めて2時間。田園風景が広がる根古谷(ねごたに)地区にさしかかると、1400年代に築城されたという根古谷城跡や馬頭観世音堂、日蓮上人の生御影を安置する法宣寺などの歴史的史跡が点在しています。そして、田園風景の先に見えてきたのが、「寝釈迦」。低い山並みや木々のシルエットが、まるでお釈迦様が寝ているように見えることから、地元では、「寝釈迦」と呼ばれているそうです。う～ん！！ そう言われなければ、単なる低く連なる台地にしか見えないが…。ここは、古くから信じられてきた言い伝えを大切にしよう。確かに間違いなく、「寝釈迦」に見える！！

雨が…

スポーツプラザで昼食休憩をとる頃から、心配していた雨がポツリポツリ。

残念ながら、後半は、そぼ降る雨の中、ひたすら歩くのみとなりました。

途中、予定していたコースを変更して、ショートカットで八街駅へ・・・。

14時40分、無事、八街駅到着。

歩こう会初めての八街ウォーキングでしたが、畑作地帯、水田地帯をくまなく歩き、落花生の野積みによる特徴的な農村景観を随所で見ることができ、とても楽しい例会となりました。

今回、企画から案内まですべてを担当していただいた地元、八街の川村さんに心から感謝を申し上げます。そして、参加された皆さん、お疲れ様でした。
(報告 伊香賀)

